

令和 8 年度予算編成方針

令和 7 年 1 0 月 1 日

総務部長 柴田武巳

先に示された**市長メッセージ『令和 8 年度当初予算編成のスタートにあたって』**を踏まえ、第 5 次古賀市総合計画基本構想の実現に向け、令和 8 年度予算編成に取り組んでいただきますようお願いいたします。

また、令和 8 年度予算は賃金上昇に伴う人件費や物価高騰に伴う物件費の増加などにより、枠配分による予算編成が難しい状況であることから、積み上げ方式での予算編成を行い、全件査定を実施します。

1 国の動向

政府は、「経済財政運営と改革の基本方針 2025」いわゆる骨太の方針において、「マクロ経済運営の基本的な考え方」、「賃上げを起点とした成長型経済の実現」、「中期的に持続可能な経済社会の実現」、「当面の経済財政運営と令和 8 年度予算編成に向けた考え方」を示し、国民が「今日より明日はよくなる」と実感でき、ふるさとへの思いを高めることができる「新しい日本・楽しい日本」を実現することをめざしています。

また、『令和 8 年度予算の概算要求について』（令和 7 年 8 月 8 日了解）では、歳出全般にわたり、施策の優先順位を洗い直し、予算の中身を大胆に重点化。要求・要望は賃金や調達価格の上昇も踏まえて行い、予算編成過程において、物価上昇に合わせた公的制度の点検・見直しも踏まえ、経済・物価動向等を適切に反映。」とされました。

「令和 8 年度一般会計概算要求・要望額（令和 7 年 9 月 3 日）」は、地方自治体に大きな影響がある地方交付税交付金等の項目では、「税収等について機械的試算を行い仮置きしたものである。」とのことですが、前年度予算に対し△1.4%の186,096億円と減額され今後の状況を注視していく必要があります。

2 令和 6 年度決算状況及び今後の見通し

令和 6 年度の普通会計決算は、実質収支については19億2500万円の黒字となり、実質単年度収支においても5億8500万円の黒字となりました。

また、財政運営の弾力性をあらわす経常収支比率は、2.7ポイント改善し90.7%、

財政力を示す財政力指数は、昨年度同様0.666となり、令和5年度決算と比較すると好決算となりました。

しかし、中期財政見通しからも分かるように、扶助費や物件費、投資的経費の増加から、市債残高は^{ていぞう}逓増し基金残高は^{ていげん}逓減するなど財政状況は厳しくなることが予想されます。

今後、重要施策を推進するためにも更なる財源確保や、事務事業見直しによる歳出の抑制など、限られた財源を効率的に配分しながら、行政サービスの質を維持しつつ健全財政の推進を図っていく必要があります。

3 令和8年度予算編成のポイント

令和8年度の予算編成については、積み上げ方式による予算編成とし、全件査定を実施します。

全事業について

- 第5次古賀市総合計画基本構想の実現に結び付く事業であること
- 市民要望並びに議会及び監査委員からの指摘事項について精査すること
- デジタル技術や民間のもつ豊富なノウハウの活用により、市民サービスの向上に努めること

既存事業について

- 現在の市民ニーズに合致しているか検証し必要な見直しを行うこと
- 事業効果の検証を行い効果が小さい事業については見直しや廃止を検討すること
- 新たな財源がないか広い視野をもって情報収集に努めること

新規事業について

- イニシャルコストだけではなくランニングコストも踏まえたトータルコストで精査すること

4 その他

部内統括及び調整委員を設定しています。予算編成にあたり、新たに取り組む事業や市長メッセージに係る事業をはじめ、既存事業についても部内査定を実施していただくとともに、部内調整及び部長を補佐していただきますようお願いします。